

第4学年 社会科学学習指導案

日 時 令和6年10月3日（木曜日） 2校時（9：30～10：15）
学 年 第4学年
授 業 場 第4学年 組 教室
指 導 者

1 単 元 地震にそなえるまちづくり

2 単元の目標

- 自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 自然災害から地域の安全を守るための諸活動の特色や関係機関や人々の協力を捉えて、そうした取組の意味を考え、地域に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

3 単元の評価規準

| | |
|---------------|--|
| 知識・技能 | ○地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことを理解している。 ○地域の関係機関や人々は、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 |
| 思考・判断・表現 | ○過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現する。 ○地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりして表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えようとしている。 |

4 単元について

(1) 子供の実態と培いたい資質・能力について

本学級の児童は、課題に対して真面目に取り組むことができる。地震・津波を想定した避難訓練を行った際には、真剣に取り組み、迅速に避難することができた。また、8月に南海トラフ地震臨時情報が発令されたことを受け、家庭でも防災用品や非常食等を準備するなど、家庭の防災意識が高まっている。しかし、児童が災害について考えたり、自ら備えをしたりするなどして主体的に行動する態度は十分に高まっているとは言えない。

本単元では、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解させることをねらいとしている。地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりできるようにしたい。また、県や市町の取組や地域の人々の災害に対する様々な備えについてまとめる活動を通して、児童なりの自助や共助についての考えを深めさせたい。

(2) 教材について

徳島県は、国が定める「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されている。前回の南海地震（1946 年）から 80 年近く経過しており、今後 30 年以内に巨大地震が発生する可能性が高いと言われている。本校がある△△町は、海に面した場所に所在し、大きな川に囲まれている。その地理的条件から、地震発生に伴う津波や、集中豪雨による洪水等の災害が発生した際には、多くの町民が避難所での生活を送ることになると予想されている。そのため、本校でも、災害発生時に使用できる鍵ボックスを設置したり、浸水を想定して備蓄庫を 3 階に設けたりしている。また、自主防災組織による防災訓練も行われており、2 年前には本校で実施された。しかし、感染症拡大などの影響や、地域住民に十分に知られていないことから、訓練に参加する地域住民が減っている。そのことから、町内の地域住民の防災意識に個人差があることがうかがえる。そして、そのことが児童の意識や家庭での備えにも表れている。社会科での学習を通して、災害に対する備えに関心をもち、その特徴や役割を捉えるとともに、県や市町の取組や地域の人々の取組を理解するとともに、家庭や地域の一員として自分にできることを考え、選択・判断できるようにしたい。

(3) 子供の意識をつなげる単元構想について

①本時までの学習

単元の中で児童は、家庭や学校、県や市町、関係機関、地域の人々の、地震や津波への備えや取組について具体的に調べていく。その中で、「県や市町が住民の命を守るために様々な取組をしていること」や「自分たちや地域の協力で命を守る取組があること」などを調べ、本時の話し合いの際に根拠として活用できるようにしたい。

前時の学習では、これまでに調べてきた県や市町の取組についてまとめる活動を行う。その中で「県や市町は様々な関係機関と協力して、災害に備えている」「それでも、実際に災害が発生したら、足りないものがたくさんありそうだ」という考えを取り上げて広めておきたい。そのことにより、「地震に備えて、自分たちがすべきことは何だろう」という問いが児童の内に芽生え、本時の学習につながる。

②本時以降の学習

本時の前半に、地震に備えて自分たちがすべきことを出し合い、タブレット端末を用いて整理する。ここで、防災セットの準備や避難経路の確認など、これまでの学習をもとにした考えが出てくることが予想される。後半の活動では、下校中に地震が発生した時を想定し、どう行動するか選択・判断する。これまでに学習したことを選択・判断の材料とし、話し合いができるようにしたい。そして、授業の終末では、前半の活動で出し合った備えの中で、自分がまだ実践できていない取組に着目することで、「足りない部分を補う必要がある」「それには家族の協力が必要だ」という考えを引き出したい。

次時の学習では、単元の学習を通して大切だと思うことや、今の備えでは足りないと思うことなど、家族に伝えたいことをスライドにまとめる。学校での学習だけに留めず、家庭への啓発を行うことで、実践の実現に繋げたい。

(4) 単元の構造図

【学習指導要領との関連】第4学年 内容（3）

【知識及び技能】

（ア）地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

（イ）聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

【思考力、判断力、表現力等】

（ア）過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

【内容の取り扱い】

ウ イの（ア）については、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

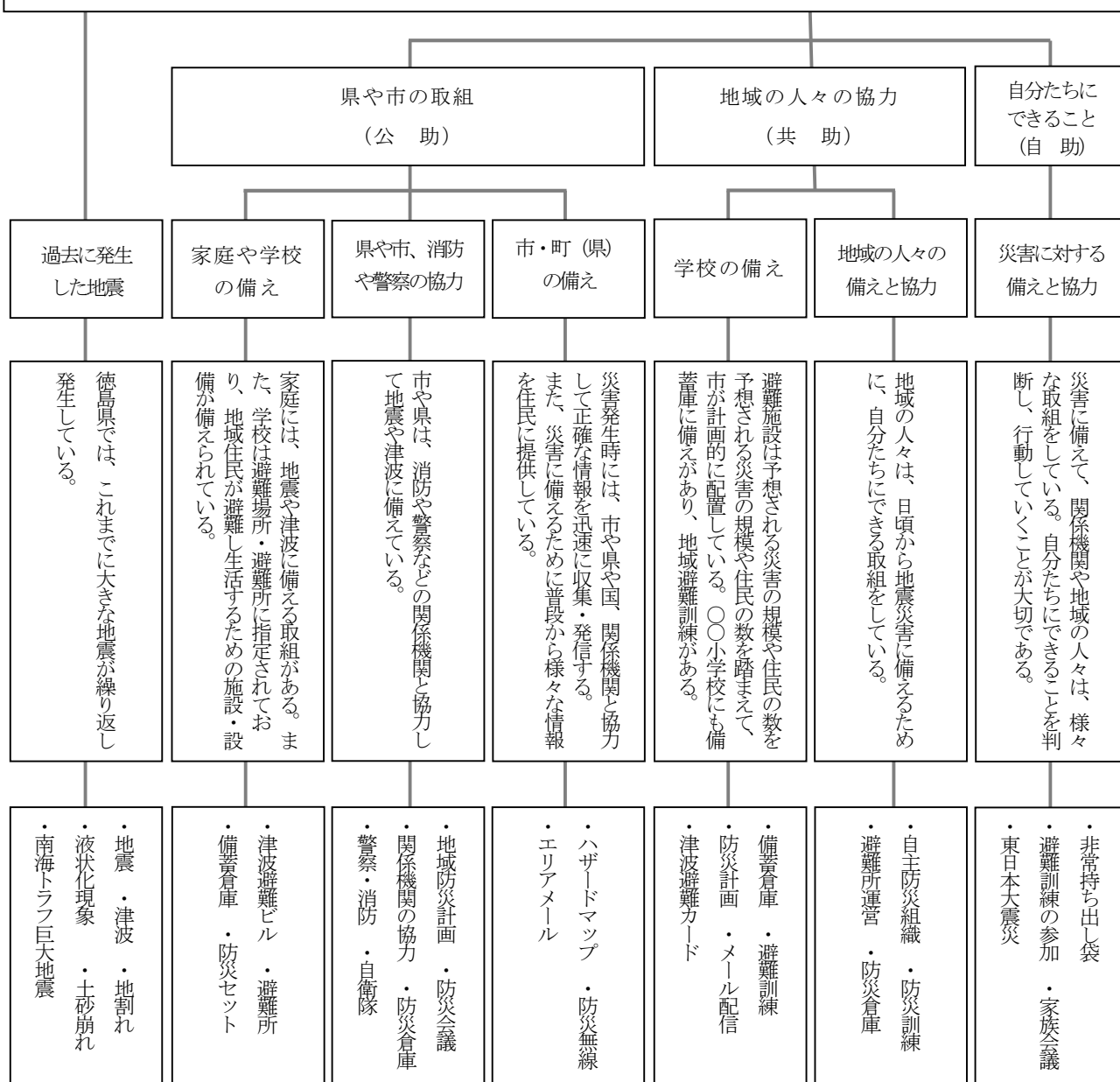
【中心概念】自分たちの地域では、様々な関係機関や地域の人々が協力して地震や津波災害に備えている。自分も地域の一員として、地震や津波災害に備えて、防災に努めていく必要がある。

過去に発生した地域の自然災害

関係機関の協力

【単元の学習問題】

地震や津波災害に備えて、だれがどのような取組をしているのだろう。



5 指導計画（全10時間）

□…単元の学習問題、□…本時のめあて、◆…主な評価

| 段階 | 活動と主な評価 | 子供の意識の流れ | 指導・支援 |
|---------------------------------|---|--|--|
| 問題をつかむ | ① 自然災害について知り、徳島県ではこれまでにどのような自然災害が多く発生しているのかを調べる。 ◆ 地域では過去に大きな地震が起きたことがあり、今後も大きな地震の発生が予想されていることを理解している。(知) | <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害には、水害や土砂災害など、色々な種類があるんだね。 ・地震で家が壊れ、多くの人が避難所で生活している映像をテレビで見たことがあるよ。 ・徳島県でも過去に大きな地震が起きたことがあり、これからも巨大地震が起きると言われているよ。〇〇町も被害が想定されているね。 | ○実際の自然災害の写真や、県で起こった自然災害の年表などを提示し、話し合うことで、徳島県では、特に地震や津波の心配があることを知り、これからの学習に関心をもつことができるようにする。 |
| | ② 疑問を整理し、学習問題をつくろう。 ◆ 地震やその備えについて気になることを話し合い、それらをもとに問いを見出し、学習問題として表現している。(思) | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな地震に備えて、私たちはどんな準備ができるのかな。 ・事故や火災の時のように、地震や津波にも地域の協力体制があるのかな。 | ○前時の学習をもとに、疑問や調べたいことを出し、分類・整理することで、学習問題をつくることができるようにする。 |
| 地震や津波にそなえて、だれがどのような取組をしているのだろう。 | | | |
| 調べ方を決める | ③ 学習問題について予想し、調べる計画を立てよう。 ◆ 自分たちの地域の地震や津波への備えについて調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(態) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校で地域の避難訓練が行われたんだね。地域で協力する仕組みがありそうだよ。 ・〇〇地区には津波避難タワーがあるね。誰が管理しているのかな。 | ○学校の地域避難訓練の様子や、津波避難タワーの写真等を提示したり、消防や水道の学習を想起させたりし、根拠をもって予想が立てられるようにする。 |
| 調べたしかめる | ④ 家庭ではどのような備えをしているか調べよう。 ◆ 家庭では、防災セットの準備や家具の固定など、様々な備えをしていることを理解している。(知) | <ul style="list-style-type: none"> ・家では、防災セットの準備や家具の固定をしているよ。 ・災害が起きたらどうするか、家族で話し合っているよ。 | ○事前調べを行うことで、防災セットの準備や家具の固定など、家庭でも様々な備えをしていることを知ることができるようにする。 |
| | ⑤ 学校ではどのような備えをしているか調べよう。 ◆ 学校では、防災計画に基づいて、様々な設備が備えられていることを理解している。(知) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校には防災計画があって、それをもとに避難訓練が行われているんだね。 ・メール配信システムで、家の人に連絡が届くんだね。 ・避難した人が入れるように、鍵ボックスがあったよ。 ・備蓄庫の中には様々な備えがあるけれど、実際に避難所が開かれることになったら不足しそうなものもあるね。 | ○学校の防災計画をもとに、災害が起きた時の流れや協力体制を理解することができるようにする。 ○備蓄庫の中身を実際に見ることで、様々な備えがあることを知ると共に、家庭でも備えをしておくことの必要性に気付くことができるようにする。 |
| | ⑥ 〇〇市や△△町は地震や津波に備えてどのような取り組みをしているのか調べよう。 ◆ 市や町は大きな地震の発生に備えて、日頃から災害時の避難に関する情報を提供していることや、地震発生時には住民に正確な情報を早く届ける努力をしていることを理解している。(知) | <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップを作って、危険な場所を知らせているのだね。 ・防災無線やエリアメール、防災ラジオを使って、大勢の人にも知らせるようにしているんだね。 ・災害時には、国や県、市町の消防、警察や地域住民などが協力できるような仕組みがあるのだね。 | ○△△町の危機管理課の方の話や、防災計画、ハザードマップなど、様々な資料を通して、国や県、市町の関係機関が協力し合っていることが捉えられるようにする。 |

| | | | |
|-----------|--|--|---|
| | <p>⑦地域の人々は、どのような備えをしているか調べよう。</p> <p>◆地域の人々は、地震に備えて、日頃から自分たちができる取組を行っていることを理解している。(知)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・避難所は市役所の人が運営してくれると思っていたけれど、実際は自主防災組織の人たちが中心となって運営するんだね。 ・〇〇小学校でも、自主防災組織の人たちが避難訓練を行っていたみたいだよ。知らなかったな。 ・自分たちにも、できることがあるんじゃないかな。 | <p>○自主防災組織の取組や思いを調べることを通して、救助を待つだけでなく、自分たちで助け合うことの大切さに気付くことができるようにする。</p> |
| みんなでき話し合う | <p>⑧関係機関の取組を、図にまとめよう。</p> <p>◆学習問題を確かめ、自分たちの地域が地震や津波災害にどのように備えているのかについて表現している。(思)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・公助では、様々な機関が連携しながら、災害に対して備えているね。 ・それでも、実際に災害が発生したら、足りないものがたくさんありそうだ。 | <p>○公助、共助、自助に整理してまとめることで、関係機関が災害に備えて連携していることを理解できるようにする。</p> |
| | <p>⑨どうすれば災害から自分たちの命を守れるのか考えよう。(本時)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・公助だけでなく、共助や自助も大切だということが分かったね。 ・地震から命を守るために、自分たちがすべきことは何だろう。 | |
| | <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>地震が起きたときに、どのように行動するのがよいかを考えよう。</p> <p>【判断を求める問い(本時中盤)】下校中に地震が発生したら、自分はどのように行動するのがよいだろうか。</p> </div> | | |
| ひろげ深める | <p>◆災害が発生した時を想定し、学習したことを踏まえて、どのように行動するのがよいかを考え、選択・判断しようとしている。(思)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・十分な備えをしても、実際に地震が発生すると、どう行動するかを判断するのは難しいね。 ・すべきことの中には、自分がまだできていないこともあるね。 | <p>○これまでに学習した内容を資料としてまとめておくことで、根拠をもって選択・判断できるようにする。</p> <p>○学習支援ソフトにまとめた自助の取組の中から、自分が実践できていないものをピックアップすることで、次時の課題を見通すことができるようにする。</p> |
| | <p>⑩家族に伝えたいことを考え、スライドにまとめよう。</p> <p>◆家族に伝えるという目的意識をもち、自分の家庭にとって必要なことを選択・判断しながら、実践しようとしている。(態)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、災害に対して備えておくことの大切さが分かったよ。 ・スライドを作って家族に見せて、一緒に備えたいな。 ・避難場所は小学校だと思っていたけれど、自分の家は違ったよ。実際に歩いて確認しておかないといけないな。 ・防災セットはあるけれど、しばらく点検していないな。 | <p>○これまでの学習をもとに、自分の家庭にとって必要なことを考えさせ、スライドにまとめることができるようにする。</p> |

6 本時の指導について

| | |
|---------|---|
| 本時のポイント | 下校中に地震が発生するという想定場面を提示して判断場面を設定することにより、地震が発生した際には、難しい判断が求められることや、地震への備えをしたり知識を身に付けたりしておくことの大切さを捉えることができるか。 |
|---------|---|

(1) 本時の目標

想定場面において、学習したことを踏まえて、どのように行動すればよいかを自分なりに選択・判断することができる。

(2) 本時の展開

□・・・本時のめあて、□・・・子供の意識、□・・・教師の問いかけ・働きかけ、■は資料

| 子供の意識の流れ | 学習活動及び◇指導・支援 ◆評価 |
|--|--|
| <p>地震や津波に備えて、関係機関は色々な取組をしていたね。でも、過去には、公助がうまく機能しないことがあったよ。命を守るためには、公助だけに頼るわけにはいかないね。</p> | <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。⑤</p> <p>◇ 前時にまとめた公助の取組を提示することで、本時の学習問題をつかむことができるようにする。</p> |
| <p>地震が起きたときに、どのように行動するのがよいかを考えよう。</p> | <p>2 想定場面において、自分はどのように行動するか考える。⑩</p> <p>◇ 防災マップ上に学校や自宅の位置を示したり、防災セットの内容を提示したりして、災害発生時の条件を具体的にすることで、根拠をもって判断することができるようにする。</p> |
| <p>下校中に地震が発生したら、自分はどのように行動するのがよいだろうか。【判断を求める問い】</p> | <p>◆ 想定場面において、どのように行動するのがよいかを根拠をもって選択・判断している。(思)</p> <p>【発言・ワークシート】</p> |
| <p>■防災マップ ■防災セット ■物資が届くまでの時間等</p> | <p>3 意見を交流させる。⑳</p> <p>◇ 学習支援ソフトを用いて、児童の考えを分類することで、それぞれの立場の意見を比較して考えることができるようにする。</p> |
| <p>すぐに避難する。</p> <p>まずは、家に帰る方がいい。</p> | <p>4 本時の学習を振り返る。⑩</p> <p>◇ 前時までの活動で整理した付箋の中で、自分が実践できていないものをピックアップさせることで、次時への課題意識をもちながら、振り返りができるようにする。</p> |
| <p>家族で集合場所を相談しているから、すぐに避難場所に行くよ。</p> <p>防災マップによると、家までの道には倒れそうな壁がある。</p> <p>避難所には、全員に配れる食料はないから、防災セットを取りに帰るよ。</p> <p>1人は不安だから、家の人が帰ってくるのを待ちたいな。</p> | <p>◆ 自助の必要性を捉えている。</p> <p>(知技)【発言・学習支援ソフト】</p> |
| <p>手元に防災マップや防災セットがあっても、実際の判断は難しかったよね。今の備えで安心といえるのかな。</p> | |
| <p>地震が起きたらどこに避難するか、家族でしっかりと話し合っておく必要があるな。</p> <p>地域の防災マップを確認しておきたいな。公園の近くも見よう。</p> <p>防災セットの中身を見直す必要があるな。避難するなら、足りないものがある。</p> <p>家で1人の時もあるよ。地域の人のことをもっと知りたいな。</p> | |
| <p>いざという時に、落ち着いて判断するためにも、日頃からの備えが大切なんだね。</p> | |
| <p>家族と相談しながら考えることもたくさんあるよ。防災の大切さを家族に伝えたいな。</p> | |